

vol. 274

Summer 2023

お茶の水女子大学の今を伝える広報誌

Ochadai  
お茶大ガゼット

# GAZETTE

## Contents

02 ー工学を力に、“共”に未来を“創”るー  
共創工学部（仮称）  
大瀧 雅寛 基幹研究院自然科学系 教授

04 共創工学部（仮称）  
教員紹介

06 学生のアクティビティ  
SDGs推進研究所学生委員会

08 教員紹介  
佐藤 有理  
基幹研究院人文科学系 助教

09 卒業生紹介  
三浦 亜紀子 さん  
理学部数学科 卒業

10 附属学校園からのお知らせ  
附属小学校





## 大瀧 雅寛

基幹研究院自然科学系 教授

専門は、環境工学、水環境保全のための水処理技術など、水をキーワードとした研究を行っている

赤松: 今日はお時間いただき、ありがとうございます。さっそくですが、設置予定の共創工学部の概要をお伺いしたいと思います。2つの学科についてご説明いただけますか。

大瀧: 人間環境工学科(仮称)は、みなさんが工学と聞いて普通にイメージされる分野がある学科であり、工学分野の女性人材を増やすということを、目的の1つにしています。一方、文化情報工学科(仮称)は、これまでの工学は「理系」のものというイメージを壊すことができると考えています。文系だけど工学をやりたいというような人には是非興味を持っていただきたいと思っています。文化情報工学科は、本学の入試で数学をとらなくても受験できます。

赤松: それは、工学では、めずらしいですね。

大瀧: たぶん、これまでの工学ではなかった分野かと思います。工学と文系を結ぶカギとなるのが、データサイエンスです。経済などの社会科学系とデータサイエンスをあわせて工学を謳う学科は、これまでもあったと思いますが、文学などの文系とデータサイエンスをあわせて工学を学べるというのは新し

い形だと思います。

赤松: 具体的に、文化情報工学科ではどのようなことを行うのですか。

大瀧: たとえば、文章からどういう言葉が使われているかを分析するデータマイニングという手法は昔からあります。これらから、異なる言語を使う際にトラブルを発生させない文章作りをどうするのかという例が考えられます。

赤松: 新しい文章を作ることも、工学になるのですか。

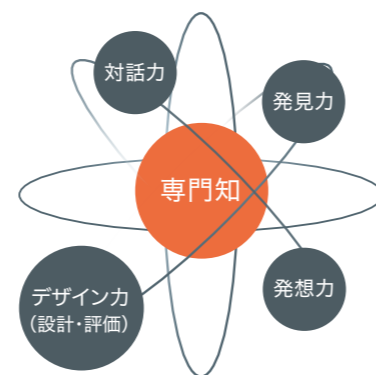
大瀧: 工学について、明確な定義はないと思っています。私たちが提唱する工学の定義とは、課題を発見し(発見力)、それを解決する方法や方策を探り(発想力)、そのアイデアをデザインし(デザイン力)、それを他者に伝え、コミュニケーションをとる(対話力)です(図1)。デザインは「設計」つまり、何かの「形にする」と言ってもいいと思います。

赤松: 「形にする」ところが重要なんですね。工学という機械を作るイメージがありま

すが、機械だけではなく、人文学の分野も含まれるということですね。

大瀧: はい。私たちは、“モノ”だけでなく“コト”を作ることも含まれると考えています。“コト”には、新しい文化も含まれ、今、説明した定義にあわせると、新しい文章をデザインすることも、工学に含まれます。

赤松: 学部名称に、「共創」というのも、めずらしいと思います。この共創には、どういう意味がありますか。



■図1 共創のための専門知を核とした4つの力

## 工学を力に、“共”に未来を“創”る

# 共創工学部 (仮称)

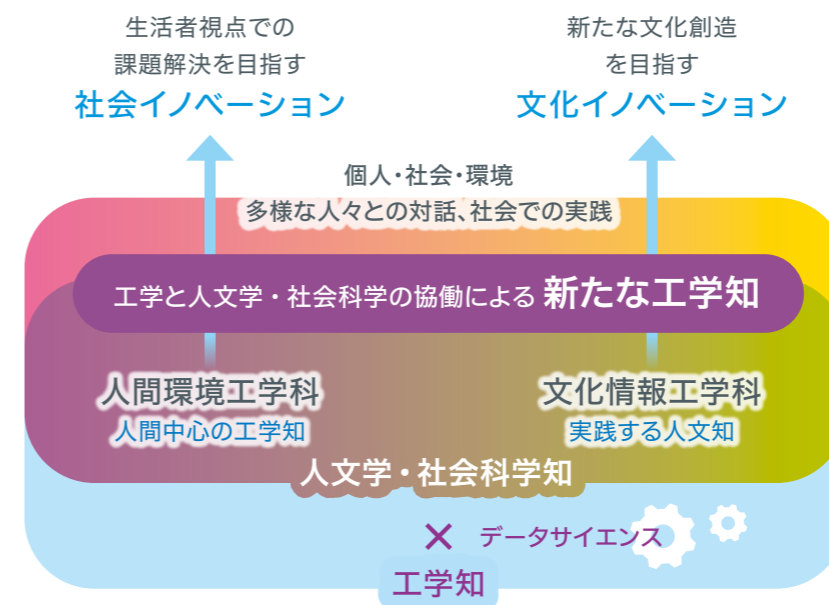
まもなく150周年を迎えるお茶の水女子大学は、常にその伝統をアップデートしています。2024年にデータサイエンスを共通語とした、人間、環境、社会、文化の知性を養い、それらを協働させる新しい工学部「共創工学部(仮称)」を設置する予定です。今回は、学部長就任予定の大瀧雅寛教授にお話をお伺いします。

※共創工学部(仮称)の設置計画は予定であり、変更が生じる可能性があります。

大瀧: どちらの学科にも、他分野と協働して、“共”に“創”するという基本的なコンセプトがあります。文化情報工学科では、先ほど説明した例でいうと、文章を工学的に設計していくという過程で、他分野との協働が不可欠です。人間環境工学科は、普通の工学部では、個別の学科に分かれているような異なる専門分野が一つの学科になっているのが特徴であり、課題を解決するために分野をまたいで協働することが可能です。

赤松: 「共創」にはそういう意味があるんですね。その「共に創る」ことを目指す共創工学部の特徴的な科目はありますか。

大瀧: いくつかありますが、例えば、両学科の研究をお互いに伝えあって、議論するというカリキュラムは特徴的だと考えます。これまでの工学系には、社会に対し、発信力やコミュニケーション力が弱いという課題がありました。つまり、「対話力」ですね。しかし工学系の学部には、対話力を学ぶカリキュラムは多くありません。共創工学部では、人間環境工学科と文化情報工学科という分野が異なる学科があるため、例えば研究成果を発表しあうことで、分野の異なる相手に伝えるスキルや相手の要望や話を聞くスキルを身に付けることができます。2つの学科の交流による相乗効果で、新たな工学知が生まれることを期待しています(図2)。



■図2 新たな工学知がイノベーションをつくる「共創工学部」

赤松: それぞれの専門知を、発見力、発想力、デザイン力、対話力の4つの力によって、新たなモノやコトをつくるということですね(図1)。ところで、今、工学系女性人材育成が求められています。なぜ女性の工学系が必要とされているのですか。

大瀧: 一般的に工学は男性に向いているといわれていますが、私は工学が男性向きの分野とは思っていません。また工学系に女性人材を増やすのは多様性を広げるためにもよくいわれますが、多様性は男女間というより、一人一人個人に存在していると思います。なのに日本では、これまで、工学の人材を人口の半分である男性しか主にターゲットにしてこなかった。それはかなりもったいない。そのターゲットを広げる、すなわち女性もターゲットにすることで、単純に人材の裾野が広がり、その結果、多様性が広がるだけでなく、技術の発展といった頂点のレベルも上がると期待されます。

赤松: 日本の技術の発展には、男性女性問わず、工学系人材全体を増やす必要があるということですね。

大瀧: そうですね。とは言っても、実際、まだ、工学は男性の学問と一般的に考えられています。女子だからという理由だけで、工学部への進学に躊躇している人がいたら、人間環境工学科がいいかもしれませんね。また例えば数学が苦手というだけで興味はあるんだけど、工学への道をあきらめようとしている人には、文化情報工学科で工学を学ぶチャンスがあります。

赤松: たくさんの受験生に、ぜひ、チャレンジしていただきたいですね。これまでの工学のイメージを変える新しい学部の誕生が楽しみです。今日はどうもありがとうございました。

聞き手: 赤松 利恵  
広報・学術情報担当副学長、広報推進室長  
基幹研究院自然科学系 教授



### 長澤夏子 教授(学科長就任予定)

建築計画、建築環境・設備

建築や都市空間の計画学が専門です。生活と社会の両輪からなる身近な環境は、情報社会の進展、環境問題などライフスタイルと共に、今、大きく変化しています。人の行動・心理生理など調査データを分析し、新しい環境の構築方法を提案します。様々な専門家や利用者と共に課題を見つけ環境を創るプロセスは楽しいです。



### 大瀧雅寛 教授

環境衛生、環境負荷低減

途上国の水処理は技術開発など科学的思考だけでは役立ちません。現地の人に受け入れられるための対話力が重要です。そんな人材が研究に関わってくれるのを願っています。



### 太田裕治 教授

人間工学、生体医工学

医療や福祉の現場で役立つ技術を作るには技術全般を広く知って適切に組み合わせるだけでなく、対象者や医療スタッフとの対話が欠かせません。日々、共創して技術を開発していきます。

### 小口正人 教授

マルチメディア、情報ネットワーク

ネットワークにより接続された大規模なシステムは現代社会の中心的な基盤となっています。このシステムの仕組み、データの扱い方、セキュリティやプライバシーなどは重要な課題で、その研究成果は社会環境の発展に直結します。



### 宮澤仁 教授(学科長就任予定)

地理情報学、人文地理学

文化情報工学科では、人文とデータサイエンスと工学の3つの学問領域が協働する新しい学びの場を提供し、新しい文化や価値を創り出す人材を育成します。私が担当する地理情報学の授業では、地域の社会的・文化的課題を明らかにし、持続可能な地域、豊かな文化に囲まれた地域をデザインするためのプラットフォームとしてGISを活用する能力を磨きます。



### 伊藤貴之 教授

マルチメディア、コンピュータビジョン

データサイエンスの一過程でデータを効果的に画面表示する「可視化」の研究をしています。さらに、音楽や絵画の特徴や魅力をコンピュータに解明させる研究もしています。



### 伊藤さとみ 教授

言語情報学、言語学

人と人とのコミュニケーションには、言葉の様々な側面、意味、文構造、音声、文脈などが関わります。それらの関わりを明らかにしてみませんか。



### 吉田裕亮 教授

応用数理、基礎解析学

統計的データ解析の基礎となる「確率論」を担当します。データサイエンスの力で、例えば歴史資料に隠れていた新たな事実が発見できたら楽しいですよ。



## 人間環境工学科(仮称)

## 共創工学部(仮称)教員紹介

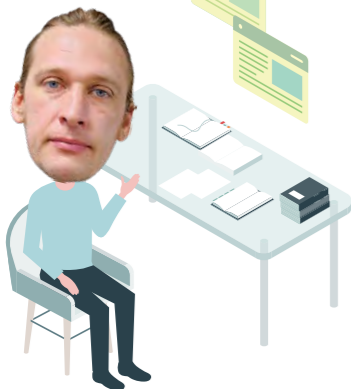
各学科の先生方のご専門をお伺いしました!

## 文化情報工学科(仮称)

### 近藤恵 教授

自然人類、文化財科学

私たちは、社会の一員である以前に、生物として自然界の一員であることを忘れてはなりません。特にテクノロジーに携わる人はこれを強く意識すべきと考えます。



### Julien Triplette 准教授

生体工学、健康科学

スポーツ科学は、多くの学問分野が交差するエキサイティングな分野です。人間工学の手法を使用して、人間の身体的行動の理解を深め、人々が健康的なライフスタイルを取り入れるのを支援する新しいハードウェアとソフトウェアのサポートツールを設計しました。



### 由良敬 教授

生命情報、生物物理学

持続可能な社会を作っていくためには、環境に負荷がかからない工学が不可欠です。生命情報学や生物物理学は、生物のしくみを情報の立場から明らかにする理学的学問ですが、その英知を工学に応用すれば、例えば、環境負荷が低い化学反応を新規タンパク質に触媒してもらう道筋を見出すことも可能です。生命情報の工学応用を学んでいきます。



### 河合英徳 准教授

建築環境、都市気候

市街地での猛暑や台風での強風被害等、都市・建築の周りの気象現象を観測やシミュレーションにより明らかにしながら、地域の気象条件に適応した都市や建築の設計に生かしていくことを目指しています。

### 藤山真美子 准教授

デザイン工学、建築学

都市・建築学は、人々のアクティビティを活性化し、人々の五感を統合する「空間」の可能性を、未来の生活環境につなげる創造性のある学問です。



### 元岡展久 教授

建築設計、建築史・意匠

古今東西の建築を対象に、環境や社会文化と建築意匠との関係を研究しています。アイデアを具体的な形にすることに興味ある方、歓迎します。



### 雨宮敏子 助教

生活材料、高分子・繊維材料

機能性繊維や高分子ゲルなど、ヒトの身体の近くで用いられ生活に身近な材料の研究を通して、より便利で快適な生活環境の創出を目指しています。



### 土山玄 准教授

テキストアナリティクス、計量文献学

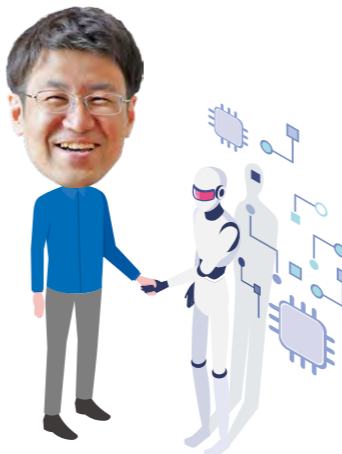
作者や成立過程が不詳な文学作品のテキストデータを対象に、データサイエンスの手法を用い分析することで作者や成立過程を推定するという文理融合の研究を行っています。



### Le Hieu Hanh 准教授

データベース、データ工学

医療・言語等の多種多様な情報を対象とし、データを有効的に集積・格納した上で、有益な情報を創出する分析方法の研究開発に取り組んでいます。



### 佐藤有理 助教

思想情報学、認知科学

人間とAIモデルのパフォーマンス比較分析を通して、(哲学が対象としてきたものを含む)人間の認識の不思議にアプローチしています。本誌8ページ「教員紹介」特集もご覧ください。



### 埋忠美沙 准教授

文化情報学、演劇学

歌舞伎を中心に日本演劇を研究しています。演劇は時代ごとに、最先端の技術の実験の場となってきました。新学部で情報工学を用いて研究をおこない、演劇の保存と創造に取り組めます。



### 土田修平 講師

人間情報学、システムデザイン、ヒューマンインタフェース・インタラクション

ヒトやモノが発する多彩な表現と工学・情報科学技術を融合して、未知の表現世界を探求する研究に取り組めます。新たな価値創造に向けて、一緒に挑戦しましょう。



### 遠藤みどり 助教

歴史情報学、日本史学

歴史情報学は、歴史学に情報学の技法や技術を応用する学問です。歴史も好きだけど、最新のAI技術や情報学もしっかり勉強してみたいというあなた!ぜひ一緒に学びましょう。





# 学生の アクティビティ

インタビュー  
しました!



Ochanomizu Univ.  
Institute for SDGs Promotion

## お茶の水女子大学 SDGs 推進研究所 学生委員会 (通称「OCHA-SDGs 学生委員会」)

本学のSDGs推進研究所は、サステナブル社会実装機構に属する組織で、学生委員会はその実践活動を担います。初代委員長1名から始まり2年目となる現在は約40名で構成され、7名の総務部メンバーを中心にすべての学生委員がESD(Education for Sustainable Development) 班、食班、環境班のいずれかに所属して活動しています。企画には携わらず、私たちの活動について情報を得ることができる「スタディグループ」という組織にも、多数学生が在籍しています。企業や他大学、附属学校園とも連携しながら、企画の立案から運営、広報まで学生が主体となって行い、「生活者起点」のSDGs推進活動を目指しています。

### OCHA-SDGs 学生委員会の魅力や 特徴を教えてください。

「人」と「実践」です。普段はそれぞれ異なる学問・活動をしている学生



定例会の様子

が集まって多角的なアイデアを出し、SDGs推進研究所の先生方にアドバイスを頂いて企画をブラッシュアップしています。また、大学での学びはやはり実践が少なくなってしまう中で、自分たちがやりたいことを具体的な行動として実践に移すことができるのは大きな特長です。そして、SDGsのゴール17にも「パートナーシップで目標を達成しよう」とあるように、大学生協とコラボした学内でのイベント、附属学校園と連携した取り組み、他大学との共同の取り組みなど、各所と連携しながら色々な規模の取り組みを行っています。

### 活動で心に残っていることはありますか。

実は、私たちの活動が本格的にスタートしてから、まだ半年ほどし

か経っていません。でもこの短い期間で、数多くの刺激があり、たくさんの経験をさせていただいています。

まず、学生委員の企画力や意欲が非常に強く、互いに活力や刺激を与えています。また、企業様のSDGs関連事業の見学を通し、それらの活動から恩恵を受けている人々の存在や、彼らの抱える困難・思いも学びました。学生主導で企画を遂行する上で、企画が頓挫するなど困難を抱えることもありましたが、それでも、活動を進めるにつれて、人々に「SDGs」の存在や価値を知ってもらえるのではないかと、遠くの誰かや未来の人々の生活が豊かになるのではないかとという想いが強くなっています。



レインボープライド参加時の様子



～副委員長～  
もりした はな  
森下 華さん  
文教育学部  
言語文化学科 2年

～広報部長～  
かんの まゆ  
菅野 真結さん  
文教育学部  
人文科学科 3年

～環境班 班長～  
リッパル アメリさん  
文教育学部  
人間社会科学科 2年

～委員長～  
なかむら さとみ  
中村 聡美さん  
文教育学部  
言語文化学科 2年

～副委員長～  
どい せり  
土井 泉璃さん  
理学部  
生物学科 2年

～ESD班 班長～  
おおくぼ みさと  
大久保 美聡さん  
理学部  
情報科学科 2年

～食班 班長～  
まつお  
松尾 ひなのさん  
文教育学部  
人間社会科学科 2年

### 今後はどのような活動を行う予定ですか。

より一人一人が積極的にゴール達成に関わっていけるような取り組みを展開していきます。地域社会との連携を密にすることで「誰一人取り残さない社会」に近づけます。また学生委員内での勉強会も開催数を増やしたいと考えています。私たちがSDGsについて学びを深めることで、大学を卒業して社会に出てからも、主体的に社会の問題を解決する人間に成長する機会となるよう努めたいです。

### 新メンバー募集中とのことですが、 どのような方に仲間入りしてもらいたいですか？

SDGsに関心のある方はもちろん、企画を立てることや、組織の一員として活動することを経験してみたい方にも学生委員になっていただきたいです。学生委員会は組織として完成されているわけではなく、今も成長中です。ぜひ私たちと一緒に、明るく楽しく、より良い組織を目指して活動しましょう！

### 実は...私たちの普段の行動が SDGsにつながっている?!

私たちの日常生活は持続可能な社会の構築と密接に絡んでいます。別にものすごいことをする必要はないのです。OCHA-SDGs学生委員会の3つの班に合わせて、どんなことができるか考えてみましょう!

- ESDでは?** SDGsについて学んだこと・実践してみたことを友達や家族に話してみる
- 食では?** フードロスを抑えるために、食べきれなさをうなら少量パックで購入する、手前取りを実践する
- 環境では?** ペットボトルを買う代わりにマイボトルを、レジ袋を買う代わりにマイバッグを持ち歩いてみる

1人が100できなくても100人が1ずつ、1000人が1ずつ行動を変えることで社会をちょっとずつよくできます!

### OCHA-SDGs 学生委員会メンバー



### OCHA-SDGs アクションアワード表彰式後



### 現在進行中の企画 (2023年6月時点)

- ～ESD班～
  - OCHA-SDGs カレンダーの作成
  - 勉強会「月間OCHA-SDGs」
  - お茶大生のSDGs認知度調査
- ～環境班～
  - リサイクル講演会(文京区お届け講座)
  - ウォーターサーバー導入に向けたプロジェクト
  - 空調に関する調査
- ～食班～
  - 昆虫食企画
  - 朝食欠食削減企画
  - 味覚評価部
- ～その他～
  - ヴィーガン企画(食×環境)
  - フードドライブ((株)セブン&アイ・ホールディングスとの協働)

### お茶大SDGs推進研究所 SNS



▼ 委員会に関するお問い合わせはコチラ  
sdgs-office@cc.ocha.ac.jp

ご入会希望の方も、お気軽にご連絡ください!



# 教員紹介

Interview

## 佐藤 有理 先生

基幹研究院 人文科学系 助教

### Profile

都立西高校卒業後、慶應大文学部・文学研究科(岡田研)に進み、博士(哲学)。認知科学の訓練を東京大(植田研)JSPS特別研究員で受ける。英ブライトン大、京都大、東京大でのプロジェクト研究員を経て、2023年度より本学。



Yuri Sato

文系理系の垣根を越えて

人間を理解する

### Q1 ご専門の研究について、お話を聞かせてください。

否定は描けるか、「～ない」として否定される対象は見えないのにどうやってそれを画像から理解するのか、人間は大抵できるのにAI機械学習モデルでは難しいという実験結果が得られたがそれはなぜか、といったことを扱う論文を雑誌Cognitive Scienceから今年出しました。このような哲学・論理学に通ずる問題を認知科学の学際領域で解いていく研究に取り組んでいます。認知科学は、人工知能、言語学、人類学、心理学、神経科学、哲学、教育学などの協働において人間理解を目指す学際分野で、Humanities(人文学)と情報科学の学際研究を牽引する人達が切磋琢磨している代表的なフィールドです。最近では、計算モデルをつくることを強調して「計算〇〇」、情報処理技術一般と結びついて「デジタル〇〇」と呼ばれることもあります(〇〇は「人文学」およびその下位分野名)。



### Q2 ご専門を選択した経緯をお聞かせください。

哲学のなかには論理学という、成立背景としての文学部哲学科にあるだけでなく、計算機科学などにも広がる分野があります。例えば、「このPCはMacだ」が事実の場合、否定のついた「このPCはMacでない」は間違いで、これらは同時に成り立たない、といった思考や計算の原理を扱います。論理学をメインとする岡田光弘先生の研究室に入ったら、論理学と情報科学・認知科学の学際研究の大型プロジェクトが走っていて、それに巻き込まれていったというのが経緯の正直なところ。ただ振り返ってみると、論理やその周辺の言語、意味、表象、認知と主題・手法ともに幅広く受け入れてくれる哲学の懐の広さ、人文学および形式科学に立ちつつ経験科学にも展開していくスケールの大きさが魅力的だったのではないかと思います。

### Q3 これからの研究課題についてお聞かせください。

人間理解において論理と同じく重要な感性、とくに美的価値は共有できるか、美しい絵画とそうでない絵画の違いはなにかといった哲学・美学に通ずる問題を扱う計画もあります。ま

た、収集される実世界データに少なからず含まれる偏見やステレオタイプに注目して、社会の課題とは正に向けて取り組む方向性もあります。当研究室は、共創工学部・文化情報工学科(2024年度設置予定：本誌5ページ特集記事)および文教育学部・哲学・倫理学・美術史コース、大学院は比較社会文化学専攻・思想文化学コースの所属です。研究ノウハウは一からお教えして手厚くサポートしていきますので、ぜひ門をたたいて頂ければと思います。

### Q4 お茶大生に向けて、メッセージをお願いします。

英語論文や英語記事を読むようになってください。理系文系問わず、質の高い研究、おもしろい研究の多くは英語で書かれています。これは人口比や流通量で考えれば当然です。英語の世界にアクセスできるだけで、自分がやりたいことの賛同者に出会える確率は格段にあがります。日本語縛りで自分の可能性を限定してしまう生き方はもったいないと思います。積極的にチャレンジしていきましょう。私も教員の1人として貢献できるよう努めます。

担当：谷口 幸代  
基幹研究院人文科学系 教授

### Q1 鉄道という基幹インフラを支える矜恃をお聞かせください。

入社して最初の5年間は鉄道の安全・安定輸送を担う列車制御システムの設計業務や工事監督業務を担当していました。鉄道設備の保守や更新は列車を運行していない時間帯に実施するため夜間の勤務もあり、しばらくはその勤務に慣れるのが大変でした。鉄道事業者としては安全・安定輸送の確保こそが最大の使命であり、ミスは許されません。担当システムの切替作業が完了して無事始発列車が動いた時には安心するとともに大変感動し、鉄道というインフラを支えることのやりがいを感じられた経験でした。今現在はオンラインサービスのCX(カスタマーエクスペリエンス)向上に向けた施策立案を担当しておりますが、自分の仕事がたくさんのお客さまの生活に直結することが何よりの魅力です。直接お客さまと接する業務ではありませんが、自分の仕事の先に必ず「人」が存在することを意識するようにしています。

### Q2 学生時代の旅の思い出は何でしょうか。

時間とお金がかまれば国内・海外問わずすぐに出かけてしまう鉄砲玉のような学生で、

たくさん旅を経験しました。一番の思い出はJR東日本と他社線の一部エリアが乗り放題になる「ツーデーパス」(2009年発売)で、学科の友人達と東京から会津若松までひたすら在来線に乗る旅をしたことです。行きは最短経路の東北本線経由で、帰りは遠回りして磐越東線・常磐線経由で帰ってきました。会津鉄道芦ノ牧温泉駅の初代ねこ駅長・ばすちゃんに癒され、ソースかつ丼やラーメンなどのご当地グルメを楽しみ、星を見ながら温泉に浸かりました。在来線の旅というゆったりとした時間を友人達と楽しめたことがとても思い出深く、学生の時しかできない経験だったと振り返って思います。

### Q3 今思う学生時代の後悔を教えてください。

在学中に語学力を磨けなかったことは本当に反省しています。鉄道会社というドメスティックな企業イメージを持たれますが、意外と英語を使う機会があります。例えば駅などの勤務では海外からいらしたお客さまのご案内が必要ですし、技術職も海外への支援業務などあります。私自身も最近、英語の契約書を扱ったり、英語での意見交換をする機会がありました。自分の言葉で自分の思いを伝えられないもどかしさを感じ、日々勉強中です。

### Q4 お茶大生が社会に出る際の心構えを現役生へのメッセージに代えてお願いします。

教師になる夢を描いて大学に入学しましたが、大学院時代に方向転換し、今に至ります。働くことは大好きですが、結婚・出産を経て仕事だけに全力投球ともいけなくなり、仕事と家庭の両立のために奮闘しています。悩みも尽きませんが、今はありのままの自分を受け入れて楽しめるようになった分、大人になったなあ…と感じます。大学入学時に想像していた未来の自分とはかけ離れていますが、「人生で達成したいこと」や「大切にしたいこと」は揺れ動くものだと実感しています。在学生のみならずは今何が大切なのかを考え、一瞬一瞬で大切なものために一生懸命行動してほしいと思っています。最後に、学生時代に出会った友人は私にとってなくてはならない存在です。先日も学科の友人達と集まり、子ども達を遊ばせながら、昔話に花を咲かせたり最近の悩みを共有したりしたところです。ライフステージの変化とともに悩みごとが変わりますが、いつもポジティブな言葉をかけてもらえて元気をもらっています。ぜひ今日の前にいる友人を大切にしてください。

担当：宮崎 充彦  
基幹研究院自然科学系 准教授

# 卒業生紹介

Interview

## 三浦 亜紀子 さん

東日本旅客鉄道株式会社

### Profile

2009年3月、理学部数学科卒業。2011年3月、人間文化創成科学研究科理学専攻数学コース修了。同年4月、東日本旅客鉄道株式会社に入社。現在に至る。



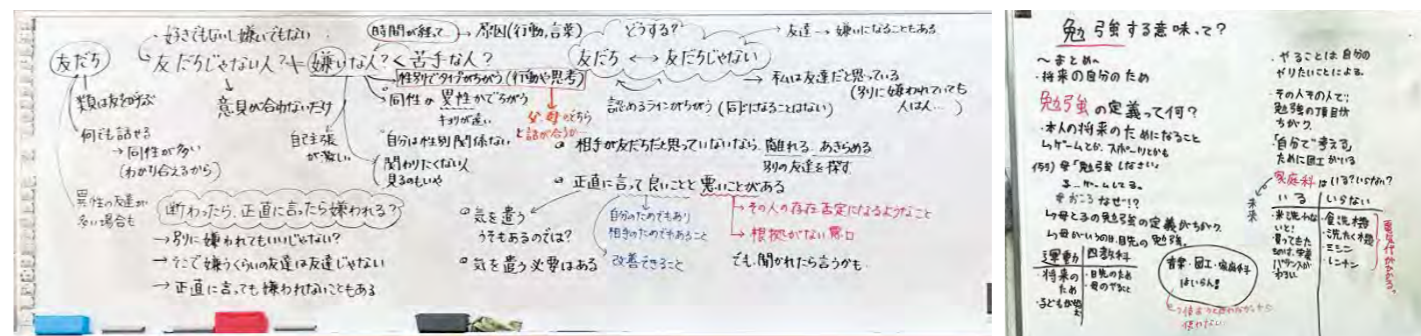
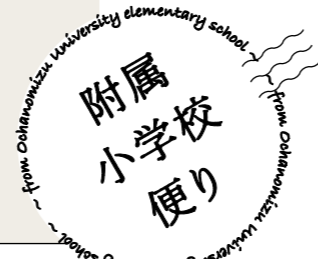
今は悩むことも  
楽しめるようになりました

Akiko Miura



# 附属学校園からの お知らせ

変化の中で生きる子どもたちのために



コロナ対策が緩和され、思い思いに様々な活動に取り組める学校生活が戻ってきました。  
附属小学校では、一人ひとりが学びの当事者となる「てつがく創造活動」を通して、今を生きる子どもたちが、  
環境や社会の変化と能動的に向き合い、自らの学びをあむ場をつくっています。



微音堂に大きな拍手が響いた入学式。4年ぶりに全学年の児童が揃い新入生を迎えました。教室では、サークル型にベンチを並べ、そこに子どもたちが集まって友だちの話に耳を傾けています。

今年度は、感染予防対策の緩和により、ここ数年できなかった行事や活動もできるだけ行っていく予定です。

小学生の育ちにとって日々の学習環境は大

きな意味をもちます。教室の空間がコの字型に、グループに、と可变的になっていくことで、子どもたちが互いに受け取る学びの芽は格段に増えていきます。

なかでも、様々なひと・もの・ことと関わりながら自分たちの学びをあんでいく新領域「てつがく創造活動」では、多様な場を経験することでその学びの質が変化していきます。

新領域「てつがく創造活動」は、現行学習指導要領の「総合的な学習の時間」「道徳」「特別活動」にあたる時間数をあてて、子どもたちが自分たちの活動をあんでいくことができるよう設定しています。

「てつがく創造活動」の特色は、一人ひとり取り組みたいことを決定できることです。多様な興味や同時に動いているからこそ、それぞれの想いや葛藤が重なり合う場に新しい学び

方が生まれていきます。

5年生時の「折り紙プロジェクト(以下PJ)」では、初めは「千羽鶴を作って送ろう」と考えていた活動が、別PJからのお願など他者との関わりを通して変化しました。それに伴い、それぞれの想いを聴き合い、互いに納得のいく分業の仕方を考え、ゴールの形も変わりました。折り紙PJだったナツさんは、「私は最初、ゴールに一直線に向かうことが大切だと思いました。しかし

寄り道をする中で、だめだったことや、挑戦できなかったところにつまずいて話し合うのも大切だと考えました。」と、自分の学びを意味づけていました。

環境や社会の変化によって生じる課題に対して、能動的に向き合うことが求められる時代の中で学ぶためには、立ち止まって「てつがくすること」も必要です。

小学校での学びを通して、子どもたち一人ひとりがしなやかさと強さを持ち、他者と未来をあんでいく市民として成長していくことを願い、日々の学校生活を工夫しています。

今年度は、2024年2月16日(金)・17日(土)に対面の公開研究会を開催し、こうした小学校の研究の取り組みを発信していく予定です。

## 附属学校園での出来事 2023年 4月～6月

Jun. 6

May 5

Apr. 4

- 附属高等学校**
  - 入学式・始業式・着任式・対面式
  - 新入生オリエンテーション
  - 3年修学旅行(広島・京都方面)
  - 避難訓練(地震)・自治会選挙・歓迎会
  - PTA総会・教育後援会総会
  - 保護者会(全学年)・春季健康診断
- 附属中学校**
  - 入学式・始業式・新任式
  - 新入生オリエンテーション
  - 情報モラル講習会・歓迎会
  - 全国学力・学習状況調査
  - PTA総会・教育後援会総会・全体保護者会
  - 避難訓練(避難経路確認)
- 附属小学校**
  - 離着任式・始業式・入学式
  - 給食開始・保護者会(各学年)
  - 避難訓練・新入生を迎える会
  - 健康診断・校外学習(2年)・授業参観
  - 保護者総会・かがみ会総会・教育後援会総会
- 附属幼稚園**
  - 進級式・入園式・5歳児遠足(小石川植物園)
  - 保護者会・親子で遊ぶ日(4歳児)
  - PTA総会・誕生会(4月生まれ)
- 附属中学校**
  - いずみナーサリー
  - 避難訓練(地震)・野菜苗植え
- 附属小学校**
  - いずみナーサリー
  - 避難訓練(地震)・交通安全教室(1年)・避難訓練
  - 教育実習(6月)
  - 運動会(午前11:30～午後2:45)
- 附属幼稚園**
  - 子どもの日の集い・健康診断
  - 親子遠足(新宿御苑)・誕生会(5月生まれ)
  - 全学年引き取り避難訓練
  - 親子で遊ぶ日(3歳児)
  - 教育実習開始(前期2週間)
- 附属中学校**
  - いずみナーサリー
  - 避難訓練(地震)・在園定期健康診断
  - 保護者会
- 附属小学校**
  - 個人面談・遠足(4歳児)
  - 避難訓練・安全指導・親子遠足(3・4・5歳児)
  - 誕生会・園医健康診断
- 附属高等学校**
  - 面談週間・学校説明会
  - 3年学力テスト・自治会総会
  - 3年ケンブリッジ英検
  - 授業参観・期末考査・教育実習
- 附属中学校**
  - 学年ごとの宿泊行事・期末テスト
  - 避難訓練
- 附属小学校**
  - 校外学習(1年)・引き取り訓練
  - 郊外園ジャガイモ掘り(1・6年)
  - 水泳学習(9月)・土曜参観
- 附属幼稚園**
  - 誕生会(6月生まれ)
  - ジャガイモ掘り(5歳児)
  - ふれあい動物園(園庭にて)
  - 幼稚園主催講演会
- いずみナーサリー**
  - 災害用伝言ダイヤル試行
  - 避難訓練(火災・救急要請)・個人面談
- 子ども園**
  - 個人面談・歯科健診・誕生会
  - 避難訓練・安全指導・にこにこ動物園





### 裏表紙について

附属図書館は、本学の教育・研究機能を支える総合図書館として、学習図書や研究図書、電子ジャーナル、電子ブック、データベース、視聴覚資料のほか、ジェンダー研究や幼児教育関連資料など本学特有の貴重な資料群を提供しています。西エントランス側の池には亀が生息し、お茶大生の学生生活をそっと見守ってくれています。

## Ochadai GAZETTE

vol.274  
Summer  
2023

発行日 / 2023年7月3日

発行 / 国立大学法人お茶の水女子大学

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1

ご意見・ご感想はこちらまで

企画戦略課広報担当

電話：03-5978-5105 FAX: 03-5978-5545

E-mail: info@cc.ocha.ac.jp

URL: <https://www.ocha.ac.jp/>



本誌、およびバックナンバーは、  
本学ホームページに掲載されています。  
どうぞご覧ください。



お茶の水女子大学は  
2025年に創立150周年を迎えます



お茶の水女子大学  
Ochanomizu University